

研究課題名	脊髄髄内腫瘍の治療成績と予後改善因子の解明
研究の意義・目的	脊髄髄内腫瘍は治療方法が確立しておらず、治療に難渋する症例もあります。そこで、本研究では全国多施設の症例治療経験を集約し、稀少疾患である脊髄髄内腫瘍の治療成績と予後改善因子の解明を目的とします。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2023年3月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2009年4月から2020年3月に当院で手術治療をうけ、脊髄髄内腫瘍と診断された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	脊髄髄内腫瘍症例について、全国の共同研究機関からデータを収集し統計解析を行います。診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、検査データ、CT画像など】
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関の東北大学脳神経外科に情報を提供します。
この研究を行っている共同研究機関	研究代表施設：東北大学脳神経外科 共同研究施設： 北海道大、北海道脳神経外科記念病院、札幌麻布脳神経外科病院、中村記念病院 秋田県立循環器・脳脊髄センター、岩手医大、総合南東北病院、自治医科大学 群馬大学、信州大、日本医大、獨協医科大、順天堂大、埼玉医療センター 聖マリアンナ医大、亀田総合病院、国立がんセンター、東京大、東邦大、東京慈恵会医大 東京医大、順天堂大、帝京大、東京女子医大、都立神経病院、湘南鎌倉病院、千葉大 北里大、筑波大、横浜市立大、名古屋大、愛知県がんセンター、名古屋医療センター 愛知医科大、平成藤枝記念病院、藤田保健衛生大、神戸大、大津市民病院、富永病院、三重大 奈良県立医科大、京都府立医科大、和歌山県立医大、大阪大、近畿大、京都大、大阪市大 大阪医大、守口生野記念病院、信愛会脊椎脊髄センター、医誠会病院、岡山大、大田記念病院 福岡大、広島大、愛媛大、長崎大、久留米大、うちかど脳神経外科クリニック、鹿児島大
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学 研究責任者：内藤堅太郎 代表研究機関：東北大学 脳神経外科 研究代表者：遠藤俊毅
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究は、日本脊髄外科学会より研究資金の提供を受け実施しています。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学 (担当者氏名) 内藤堅太郎 電話番号：(06) 6645-3846 メールアドレス：7110ken622@med.osaka-cu.ac.jp